

☆ 世 界

綿 花 大量の綿花在庫 引き続き 2015/16 年も

2014/15 年、世界の綿花の期末在庫は、前年比 9%増の 2,200 万 トンまで上昇する見通し。2010/11 年から 2014/15 年末まで、生産が消費を上回ったことで、同期間に綿花在庫は 1,340 万トン増加した。2015/16 年は、在庫は前年比 5%減の 2,100 万トン弱まで減少する見込み。中国以外の地域の在庫は、2014/15 年に 16%増え、940 万トンとなる見通しであるが、その後 2015/16 年末には、4%減の 900 万トンまで減ると予測されている。

世界の過剰在庫のほとんどは、中国政府が所有しており、これは、2011～2014 年の備蓄政策のもと、中国備蓄庁が購入してきたものである。中国備蓄庁が最後に在庫を購入したのは、2013/14 年産の綿花を 2014 年 3 月に購入したもの。在庫量は、約 1,130 万トンとなっている。

7 月 10 日、中国政府は、市場の安定を維持するため、現在の国内市場価格に近い価格で備蓄を販売し始めた。7 月末までに販売された綿花の総量は、およそ 4 万トンとなっている。

2014/15 年のインドの期末在庫は 220 万トンになる見込みで、これは世界第二位の在庫量である。在庫増加分の一部はインド政府が保有しており、政府が最低価格支援プログラムの一環として入手したものである。2014/15 年のインド政府購入分は約 150 万トン、7 月末までの販売量はおよそ 65 万トンと推測される。しかしながら、インドの輸出量は 98 万トンとなり、前年比で 51%減少したため、在庫が増加する結果となった。

2015/16 年は、5 シーズンぶりに消費が生産を上回り、在庫が減少する見通し。世界の綿花生産量は、9%減の 2,380 万トンになる見通し。世界五大生産国の生産量は、2～16%減少すると予測されている。中国の生産量は、コスト上昇、政府補助の削減から 16%減の 540 万トンになる見通し。インドは、2%減の 640 万トンになる見込み。

2015/16 年の世界の綿花消費量は、2%増の 2,490 万トンとなる見通し。中国の消費量は 770 万トン、横ばいで推移すると見込まれている。しかしながら、中国以下、世界第四位までの最大消費国でミル消費が増える見通し。

2015/16 年、世界の綿花輸出は 770 万トンで横ばいの見通し。2015 年、中国政府は、国内産綿花の需要刺激のため。輸入割当量を 89.4 万トンに制限した。中国国内の大量の在庫を考慮すると、2016 年も輸入量は引き続き抑制されていくとみられる。2015/16 年、中国の輸入量は

10%減の 160 万トとなり、中国以外の地域の輸入量は、4%増の 610 万トとなる見込み。

世界の綿花需給見通し

(100 万ト)

	2013/14	2014/15	2015/16
生産	26.28	26.20	23.83
消費	23.72	24.35	24.90
輸入	8.65	7.67	7.71
輸出	8.80	7.67	7.71
期末在庫	20.18	22.03	20.95
価格*	91	71	72

*Cotlook A インデックス(セント/ポンド)価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通しをもとに推計した。

☆ 中国

合繊原料 嘉興石化、PTAを増設へ

嘉興石化は浙江省嘉興でPTAを増設する。同社は2012年に年産150万ト規模のPTA工場を開始したが、今回の増設は第2期にあたる。INVISTAの最新技術を採用する。今回の増設規模は年産120万トであり、計画が完成すると、同社のPTA生産能力は年産240万ト、年間の生産高は200億元を超える見通し。

同社はポリエステル大手の桐昆集団の子会社。桐昆は2015年5月、18.6億元を投じて、ポリエステル長繊維を年産40万ト増設する計画を発表している(海外速報2015年5月20日号)。業界関係者は、この計画の完成によって、桐昆集団は、産業チェーンの垂直統合、企業のリスク対応能力の強化、持続可能な発展戦略にとって有利となるだけでなく、嘉興化学工業のモデルチェンジ、アップグレードや企業の海外市場での競争力を高める上で有利になると評価している。

以上